



# ホッケ道南系群 令和5年度資源評価結果

# 生物学的特性

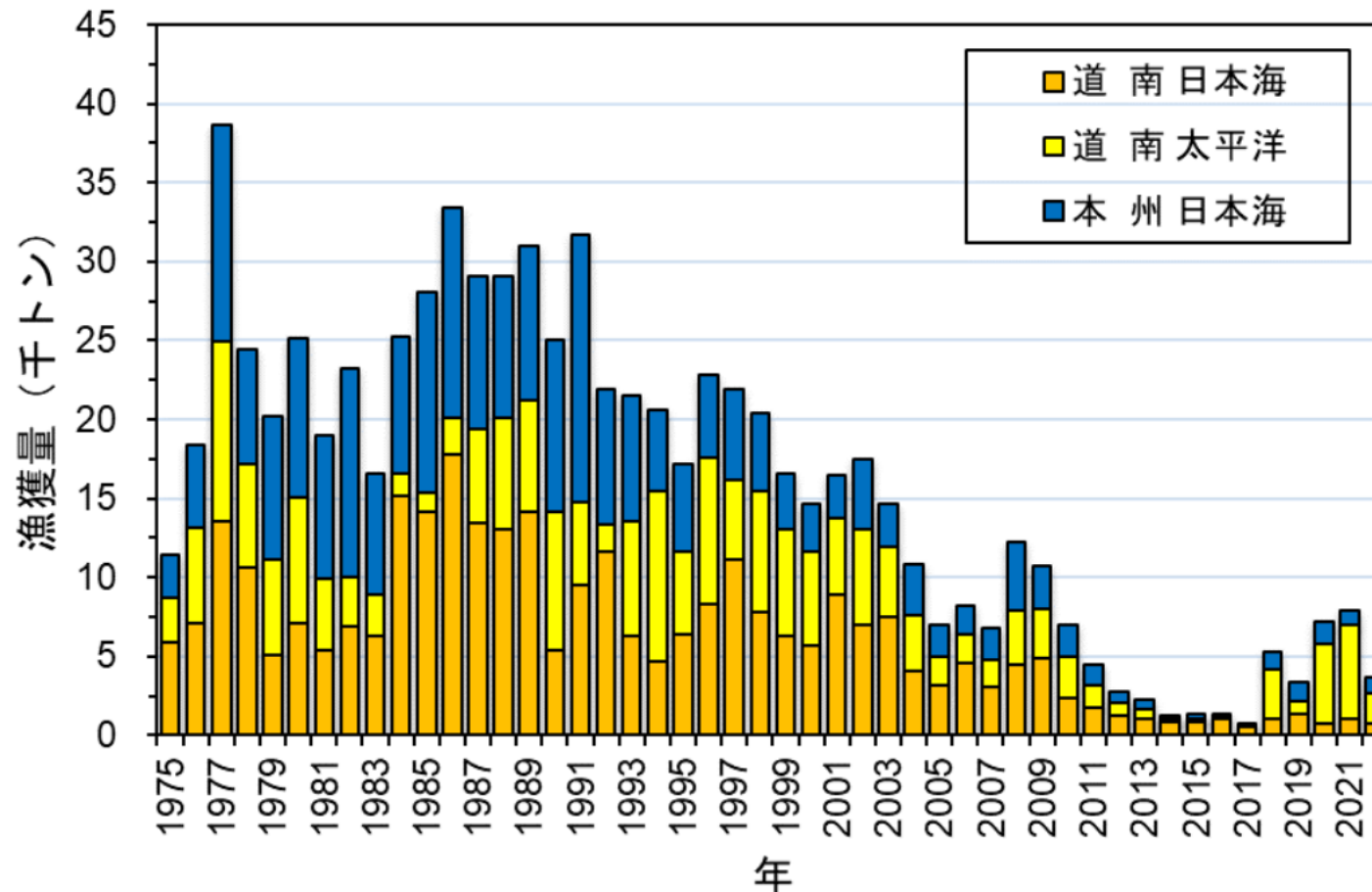


## 生物学的特性

- 寿命：  
不明（他の系群では8歳以上）
- 成熟開始年齢：  
1歳（一部）、2歳（約100%）
- 産卵期・産卵場：  
11～12月、北海道渡島半島西岸、  
奥尻島沿岸、恵山周辺の岩礁域
- 食性：仔魚期には主にカイアシ  
類、未成魚期にはヨコエビ類、  
岩礁周辺で定着生活に移行後は  
魚類、魚卵、イカ類、エビ類、  
ヨコエビ類、オキアミ類など
- 捕食者：不明

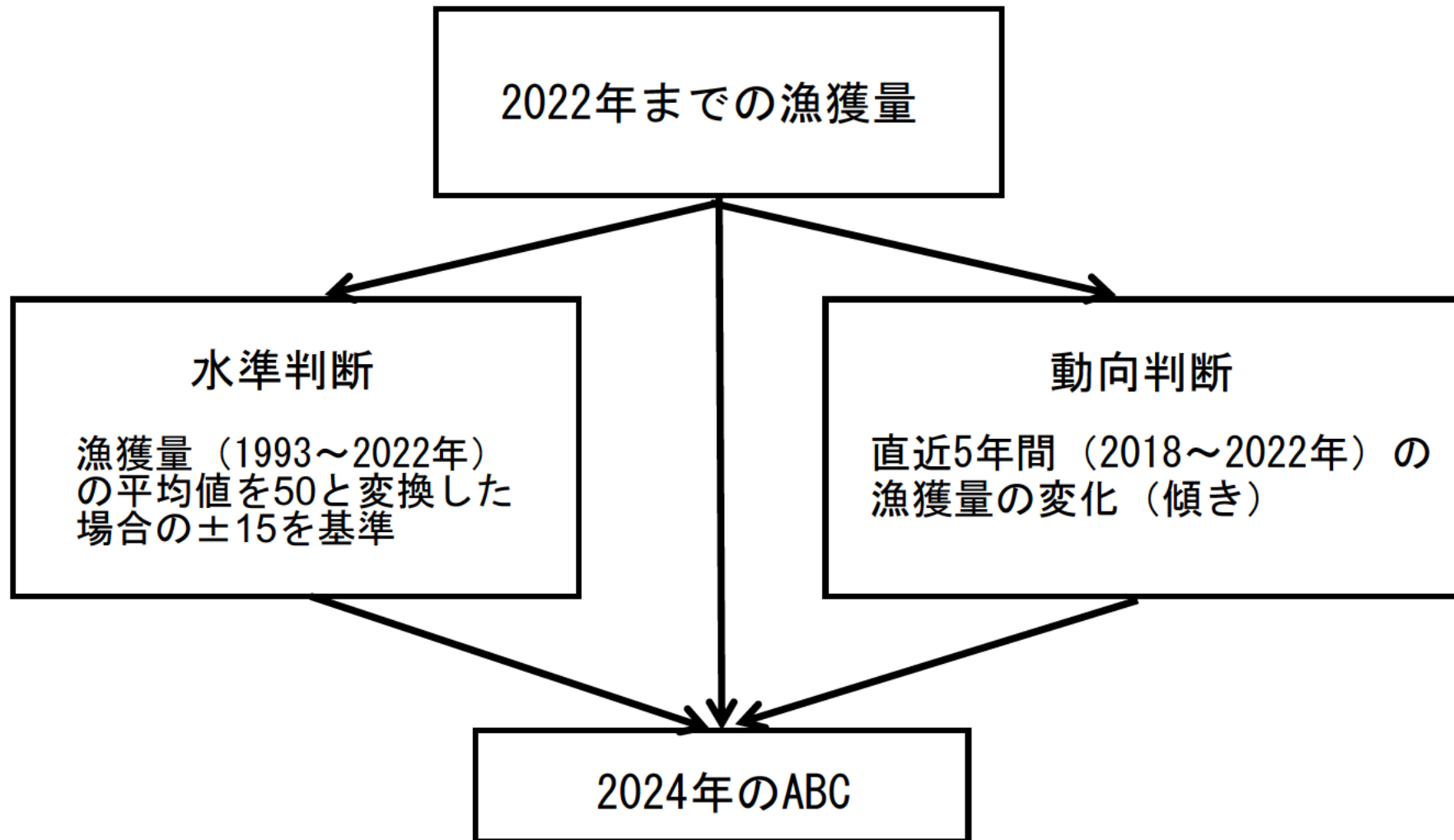
- ほぼ周年漁獲されるが、特に春季の索餌期と秋季の産卵期に漁獲量が多い

# 漁獲の動向

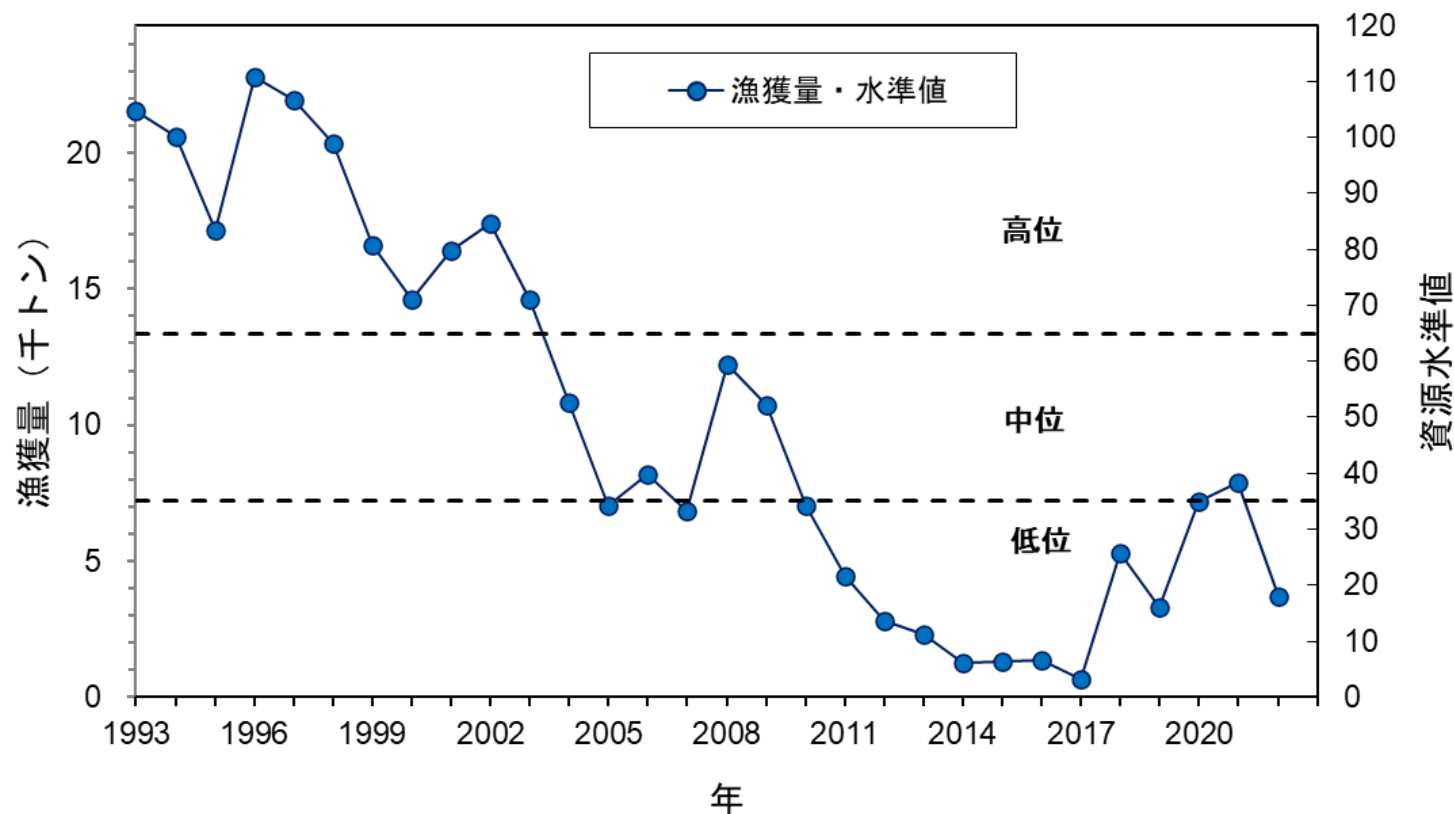


- 2022年の漁獲量：3,710トン（2021年：7,905トン）
- 2022年は道南太平洋、道南日本海で減少してそれぞれ1,944トン、756トン、本州日本海では若干増加し1,010トン
- 沿岸漁業（定置網・底建網、刺網）が主体

# 資源評価の流れ



# 資源の動向



※水準区分 低位／中位：水準値35、中位／高位：水準値65  
(1993年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の資源量の値を水準値として算出)

- 資源水準：2022年の漁獲量は3,710トンで、資源水準値は18であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2018～2022年）の漁獲量の推移から「横ばい」

# 資源評価のまとめ

- 資源水準は「低位」、動向は「横ばい」
- 漁獲努力量が比較的安定したと考えられる1993年以降の漁獲量に基づいて資源状態を判断した

## 2024年ABC

管理基準	Target/ Limit	2024年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.7・Cave3-yr・0.86	Target	3,020	-	-
	Limit	3,780	-	-

- ABC算定規則2-2) より  $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$  で計算
- $\delta_2$  : 0.7 (資源水準が低位である場合の標準値)
- $Ct$  : Cave3-yr (直近3年間 (2020~2022年) の平均漁獲量)
- $\gamma_2$  : 0.86 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均で求まる係数)